生きた情報を的確に発信しています。
㈱朝日オリコミ千葉支社
〒260-0013千葉市中央区中央4-12-12
中央土地建物ビル407
TEL043-382-8700(代)

あさひふれんど千葉
【毎月1日・15日発行＝朝日新聞の販売店からお届けします】 第800号

発行所
㈱あさひふれんど千葉
〒260-0045 千葉市中央区弁天1丁目2番8号大野ビル5F
電話 043(284)0621
FAX 043(206)9533
Eメール info@asafure.com

京葉少年野球連盟 第33回 卒部記念大会

仁戸名ファミリーズ堂々の優勝

忘れ得ぬ思い出胸に中学へ

最後キングスターズ失速

京葉少年野球連盟第33回卒部記念大会決勝が3月1日、美浜区の千葉地方卸売市場球場で行われた。決勝は仁戸名ファミリーズと磯辺キングスターズのV争いとなり、ファミリーズがキングスターズの追撃を1点に抑えて見事な優勝を飾った。

同大会には千葉市を中心に近隣市から34チームが参加して熱戦を繰り広げた。選手たちは試合とはまた別に、小学生野球最後の思い出をたくさん胸にたたんだことだろう。中学校でもそれぞれの進路で大いに羽ばたいてほしい。

◇準決勝

磯辺キングスターズ 0002002｜4
千葉ヤンキース 0000000｜0
▽バッテリー＝阿蘇瑠河、朝日大智（磯）、宮崎、藤原－相楽（千）
▽2塁打＝舟山大斗（磯）

立ち上がりは投手戦となった。試合が動いたのは4回。磯辺はこの回先頭2番阿蘇がレフトへチーム初ヒット。3番高橋流音もレフト前へヒット。4番船越大和がきっちり送って2死2、3塁。磯辺はかたずを呑（の）む場面となったが、6番吉田将愛が初球を先制2点タイムリー。7番加藤柊羽もヒットを放ち、なおも2、3塁のチャンスが続いたが、ヤンキースも追加点は許さなかった。

磯辺は最終回わずか3球で2死となったが、ここから8番舟山が右中間2塁打。9番田中佑樹もクリーンヒット。1番朝日がセンターへ強烈な2点タイムリーを放ってダメ押した。

一方、ヤンキースは2回を除き毎回走者を出しながら8残塁。ヒットも磯辺の6本に対し5本と、決してひけを取ったわけではなかったが、要所をしっかり締めて完投した阿蘇投手に軍配があがった。

小学生野球最後の決勝戦。Vの明暗を分けた一瞬＝守備は仁戸名ファミリーズ

仁戸名ファミリーズ 1500000｜6
真砂リトルシーホーク 0022000｜4
▽バッテリー＝曽志崎龍斗、鶴沼魁斗－鶴沼魁斗、緑川将貴（仁）、奥富、水内－稲田（真）
▽3塁打＝鶴沼魁斗（仁）
▽2塁打＝鶴沼魁斗（仁）齋藤、西村（真）

実力拮抗（きっこう）。見応えある攻防を繰り広げた。仁戸名は1回表、1番鶴沼がレフトへヒット。盗塁も決めて真砂を揺さぶり、エラーを誘って3塁へ。このあと仁戸名は2死となるが、4番緑川の打席でパスボールが出て、仁戸名がラッキーな先取点をあげた。さらに2回、仁戸名は5番勝山将伍、7番曽志崎、8番藤田 懐が四球をえらび2死満塁。打順が1番に戻り鶴沼が1－1からセンターへ走者一掃の3塁打。続く2番齋藤陸斗、3番小寺 翼の3連続長短打、打者一巡の猛攻でこの回大量5点を加えた。

真砂は"乱調気味"の立ち上がりだったが3回以降立ち直り、仁戸名を散発2安打におさえた。そして3回裏1死後、1番西村が2－3から左中間へ2塁打を放って反撃を開始。2番田中の打球がエラーを誘って1点を返し、3番奥富がセンターへヒット。パスボールで田中が加点した。なおも真砂は4回裏、先頭6番川端、7番斉藤がクリーンヒット。8番稲田四球で満塁とし、9番代打佐々木死球で押し出しの追加点。そして2番田中のスクイズで斉藤が4点目のホームイン。じわりと仁戸名に詰め寄ったが反撃もここまでとなった。

「がんばったね」母親から連盟恒例の卒部記念メダルが贈られた

◇決勝

仁戸名ファミリーズ 2010100｜4
磯辺キングスターズ 0000100｜1
▽バッテリー＝曽志崎龍斗－鶴沼魁斗（仁）吉田将愛、高橋流音、阿蘇瑠河－朝日大智、船越大和（磯）
▽3塁打＝齋藤陸斗（仁）

仁戸名は曽志崎投手が好投し、打線もそれをよく支え上下ムラなく磯辺を上回った。仁戸名は1回表、1番鶴沼がレフト前ヒット。2番齋藤もライトへはじき返した。この送返球がエラーを呼び、鶴沼の好走で先取点。齋藤も盗塁に成功し、3番小寺 翼のバントで生還するなど、幸先良いスタートとなった。

2回には得点にこそならなかったけれど、先頭6番大木裕次、8番藤田 懐がヒットを放ち、9番布施栄貴のバントヒットで2死2、3塁と積極的な攻撃を見せた。3回は先頭2番齋藤が0－1からレフトへ3塁打を放ち3番小寺のライト前ゴロで追加点。5回には2死後、2番齋藤がストレートの四球で出塁すると、すかさず盗塁を決め、3番小寺が放ったレフト前タイムリーで4点目をあげた。

対する磯辺は5回までにヒット2本（3回7番加藤柊羽、4回2番阿蘇）。準決勝の疲れが残っていたのか、攻撃に精彩を欠き、3者凡退を繰り返した。「もしや」－完封負けもとさえおもわせた。終盤6回も9球で2死へ追い込まれ、イヤな予感があった。だが、そこは決勝までの5試合を3試合完封勝ち（5試合の失点3点）の磯辺。

どたん場で食い下がった。絶体絶命かに見えた6回2死後、2番阿蘇が0－3から打ったボールがエラーを呼び、3番高橋の打球も続けてこれまたエラーを誘い、送球がもたつく間に阿蘇がホームインして一矢報いた。

第37回県小学生バレー新人大会

練習が実り栄冠を手にしたみつわ台クラブ

女子 みつわ台クラブ優勝

2年ぶりの歓喜

男子 スターキッズ 再起を誓う

モルテンカップ第37回県小学生バレーボール新人大会決勝トーナメントが2月22日、香取市佐原の香取市民体育館で行われた。女子決勝はみつわ台クラブが千種ジュニア（市原）を2－0で破り、2年ぶりの優勝を果たした。男子は飯山満南が印旛ヴィクトリーを2－0で下し、V.スターキッズは3位だった。

本紙配布エリアチームの成績は次のとおり。

【女子】◇1回戦 わかしお2－0千葉中央JC▽蔵波エッグス2－0鷹乃台ジュニア▽法典2－0八千代台VBC▽みつわ台クラブ2－0Jフレンズ▽クローバー・V四街道2－0山武ジュニア▽薬円台南2－0若松台エンゼル▽つばきジュニア2－1ぎおんウェーブ
◇2回戦 みつわ台クラブ2－0クローバー・V四街道▽大津ヶ丘2－1つばきジュニア
◇準々決勝 みつわ台クラブ 2－0 坪井VBC
◇準決勝 みつわ台 2（21－18、21－14）0 わかしお
◇決勝 みつわ台 2（21－12、21－18）0 千種ジュニア

【男子】◇準々決勝 スターキッズ2－0丸山VCボーイズ▽ホッパーズ2－0NK千葉てっぺん
◇準決勝 飯山満南 2（15－7、21－23、21－17）1 スターキッズ

碧落

ると、一層
かだ。いや
らこの時期
「清楚」よ
否、清楚と
だ。「初々
ある▼雨に
日に輝く
さは、「和
さなのだ。
もの柳が白
いろ。が、
るのはせい
ナギとネコ
い。「柳に
だ▼種類が
柳に絡めた
き慣れた言
にいつも
い」という
度は口にす
毬」は絵の
し、「柳に
「柳の糸」
は紅い、柳
ばまさに
▼ところが
という言葉
枝を折って
る習いが
柳の枝は
げてもすぐ
元に戻る
味にして、
けた。だが
りを願って
るのだと
とを言う
引き換え、
身は、多く
ぜ柳の枝が
向きに垂れ
と、不思議
て、「そう
カエルが跳
うなら小野
ろう」と、
に納得し